

神奈川県合同輸血療法委員会による自己血輸血の将来予測 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年12月14日～2023年3月31日

〔研究課題〕

神奈川県合同輸血療法委員会による貯血式自己血輸血の将来予測

〔研究目的〕

献血者の減少により、将来的な血液製剤不足が懸念され、自己血輸血の重要性が再認識されています。今回、神奈川県内の医療機関で行われている貯血式自己血輸血についてアンケート調査を行い、実態の確認と今後の将来予測を行い、今後、どのように貯血式自己血輸血を促進していくべきかを検討します。

〔研究意義〕

貯血式自己血輸血を促進していくことで、将来の血液製剤不足の解消につながると考えます。

〔対象・研究方法〕

当院において、2013年1月1日から2017年12月31日の間に、貯血式自己血輸血を受けた患者様

神奈川県赤十字血液センターより、封書で調査票を各施設に送付し、電子カルテ、輸血部問システムより当該患者様のデータ(性別、年代(5歳刻み)、疾患名、自己血採血日、自己血輸血日)を抽出し、調査票に記入する。調査票を封書の上、神奈川県赤十字血液センターに送付する。

〔研究機関名〕

神奈川県合同輸血療法委員会

〔個人情報の取り扱い〕

年齢のデータが5歳刻みの年代となっているため、個人の特定ができない情報となっている。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部附属溝口病院第四内科講座 常勤客員教授 吉田 稔

住所：川崎市高津区二子 5-1-1 TEL：044-844-3213